



【当日の天気 くもり】
 開会式では吉本秀樹大会会長（厚生会理事長・伊根町長）の主催者あいさつの後、三崎政直京丹後市長、京都府知事（西村紀寛京都府知事代理・京都府丹後広域振興局長からあいさつをいただきました。近藤大祐・前田梨那選手（井手町）が選手宣誓をおこなうと、30回記念大会サポーター・せんのりきゅうが登場し、選手を激励しました。
 大会は吉本大会会長の号砲で10時30分に経ヶ岬をスタート。レースは、京田辺市Aが3区星川真輝選手の区間新の走りで見事に立つと、最後まで首位を譲らず、第10回大会以来の1時間を切る59分56秒でゴールテープを切りました。一方、女子の部は南丹病院が1区から首位に立ち、5区では木村寧々選手が区間新を記録するなど、全区間トップ通過の完全優勝を果たしています。また、府民参加の部に出場の精華A.C.、招待参加の部に出場の宇治市は全体6位、8位の好記録で大会を盛り上げました。
 なお、大会前日には「健康測定会」が公益事業として地域住民にも公開して行われ、延べ676人が測定を受けました。
 大会結果は8ページ、その他大会の様子はホームページに掲載しています。

第30回 丹後半島 駅伝大会 出場全60チームが完走

平成29年11月26日（日）、第30回丹後半島駅伝大会が京丹後市丹後町で開催され、自治体職員一般の部は京田辺市A、女子の部は南丹病院女子が優勝しました。

感動しました（招待参加の部・舞鶴市チーム）記念すべき30回大会に招待いただきありがとうございました。楽しく過ごさせていただきました。何よりもこのような素晴らしい大会が、開催地の京丹後市や厚生会役員、そして大会に参加されている会員、みなさんの手づくりで運営されている点にたいへん驚き、感動しました。来年もぜひ出場したいです。よろしくお祈りします。

駅伝にまつわる伝説（女子の部・八幡市チーム）残念ながら、女子チームは4位だったのですが、第30回の住みます芸人特別賞をゲットしました。駅伝に参加したら、絶対手ぶらでは帰らないという伝説がまたまた浸透しそうです。前日のカニもとても美味しく、1年分鯖腹いただき大満足です。どうもありがとうございました。